



# 代スキ会NEWS

2011.12.30

no.35

## 2011年を顧みて

代官山ステキな街づくり協議会  
理事長 伴文康

会員の皆さま地元の皆さま日頃はたいへんご協力頂き厚くお礼申し上げます。

2011年は3月11日の東日本大震災とそれに起因する原子力発電所の爆発という災害にふりまわされた1年であったと思います。

経済界は円高にふりまわされ猛暑の夏と暗い話題が続きました。

代官山は7月にサイバーホールディングスさんの進出、12月に葛屋書店さんのオープンと大型の企業が連続して開業、まちの流れを変え、賑わいを演出しています。

私共代スキ会(代官山ステキな街づくり協議会)としては「代官山景観写真集」を発刊しました。写真集は今の代官山の姿を表現し、代官山の空気を感じて頂ける作品を目指したものです。

東商渋谷支部が主催して「代官山スタイル研究会」が発足し、勉強会を行って参りましたが、代官山ブランドパワーアップ事業の一環として「共創するまち代官山ビジネスガイドブック」が発行されております。

また、代スキ会は連続座談会「まちづくりの哲学」を主催し、各界の方々をお招きして勉強会を行っていますが、代官山を考える上で大きな指針を与えております。

旧山手通りを日本一美しい通りにするための活動は「歩行者の安全を確保」を第一に掲げ景観美の維持向上に努めております。

奈良県iスタジオは長年にわたり種々の催し物会場として利用され、地元の方々にとっては貴重な交流の場になっておりましたが、このほど売却され高級分譲マンションが計画されているとのことです。私共としては今までもこれからも代官山のキーポイントの一つとして地元の方々にも利用してもらえ施設を併設していただけるよう事業者をお願いする考えです。

従来からの継続事業である春花祭とひまわり活動(ひまわりガーデン代官山坂)については、代官山の街づくりの一環として定着するよう努力したいと考えています。代官山がより魅力のあるまちになるようこれからも努力致しますのでご鞭撻よろしくお願い致します。

### 「まちづくりの哲学」

第一線の有識者を迎えて考えるセミナー・シリーズ、第3回(第2部)では宮台真司(社会学者)さんをお迎えしました。第1部のミュージシャン秋田昌美さんの演奏(MERZBOW)に大いに喚起された宮台さんのお話をご紹介します。

#### ■第3回「データラメな世界の希望の住処」 10月23日(日) 18時～

第2部 講師:宮台真司(社会学者) 場所:ヒルサイドプラザ

近年の都市では、機能的に遊びをもたない空き間や余剰のない「スーパーフラット化」、共同体や地域社会をあてにする必要のない「コンビニ・ファミレス化」が進んでいる。

このような空間的広がりの中で、人間は幸せに生きられるのか?

説明可能な「空間」から、入れ替え不可能な関係性や近接性をもった「場所」に、人間を主体にした開発や計画ではなく、場所を主体と考えるべきである。場所は生き物であり、人間は場所に寄生する。時間がたてば発酵する建物、年輪のような時が刻まれるまち、そして計算不可能性をデザインすることが大事である。

巨大システムに依存するのではなく、相互扶助、人間関係資本、絆を尊重したい。サウンドがノイズとともにワンパッケージであるように、まちにはノイズ・余白を差し込み、犯罪も引き受けざるを得ない。自治にも、ノイズを含む副作用があるが、引き受ける主体がいれば十分である。

スーパーフラット化による場所からの疎外、グローバル化に強い絆・希望を場所に刻印し、時間により発酵する場所に、とさまざまなメッセージをいただきました。

次回セミナー、2012年1月14日(土) 18時～

「成長」の時代から「共存」の時代へ 経済学者:水野和夫氏

※一部チラシで14日が火曜日となっているものがありました。訂正してお詫びいたします。